



サーバ監査Ⅱ 提供機能一覧

基本機能	
アカウント管理	アカウントの登録・管理を行うことが可能です。管理者（マネージャー権限）、グループ管理者（ユニットマネージャー権限）、監査担当（スキャナー権限）の3階層構造で作成可能です。
監査対象管理	監査対象となるサーバー群の登録、グループ化管理が可能です。監査対象と、監査担当・グループの紐付けを行うことが可能です。
スキャン	リモートからの脆弱性診断により、外部に晒されている問題点を検出します。スキャナーアプライアンスを利用した脆弱性診断により、内部に存在する脆弱性も検出することができます。
チケット	脆弱性診断により検出された脆弱性をチケットとして記録・管理します。チケットには検出日、対策内容等の履歴を記録し、脆弱性の存在傾向や対策状況を把握することができます。脆弱性の解決が確認されると、自動的にチケットがクローズされます。また、再度同じ脆弱性が検出された場合には、自動的に再オープンします。
レポート	検出された脆弱性の情報を様々な形式のテンプレートでレポートを取得することができます。お客様の用途にあわせてレポートテンプレートのカスタマイズが可能です。レポートは、PDF、HTML、CSV等の形式でダウンロードできます。
MAP	ICMP、TCP、UDP の応答を確認し、診断対象のネットワークまたはドメインに存在する機器を検出します。接続を許可していない機器も検出することができます。オープンポート、OS、DNS名などの情報もあわせて取得します。
オプション	
スキャナーアプライアンス	お客様環境内のインターネット非公開サーバを監査するための専用中継器を年間レンタルでご利用いただけます。提供形態は物理・仮想の2種類から選択可能です。ただしスキャナーアプライアンスご利用には 50IP 以上のライセンス契約が必要となります。
スキャナーアプライアンス設置	お客様にヒアリングシートを記入いただき、その内容を元にスキャナーアプライアンスをお客様環境内に設置いたします。スキャナーアプライアンスの正常稼働確認まで行います。
初期設定支援	お客様にヒアリングシートを記入いただき、その内容を元に初期に必要な設定を行います。利用上必要な登録作業を含め、お客様が診断の実施が可能な状態まで設定を行います。
個別説明会	診断結果に対して、報告会を行います

記載されている会社名、製品名およびサービス名称は各会社の商標または登録商標です。記載内容は2019年1月現在のものです。記載された仕様は予告なく変更する場合があります。

